



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 撰取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



静岡東組「第7次門徒推進委員養成連続研修会」(第1回目)

◆ 令和元年10月8日～9日 ◆



静岡東組「第7次門徒推進員
養成連続研修会」(第1回目)

◆ 令和元年10月8日～9日 ◆



静岡東組「第7次門徒推進員
養成連続研修会」(第2回目)

◆ 令和2年1月13日～14日 ◆

この世のことに関心を持つと同じくらい仏法の事に
心を寄せたいものです。

(蓮如上人御一代記聞書)

「弔う」とむら



住職 本持 愚山

国語辞典には「人の死を悲しみいたむ。くやむ。」「死者の霊を慰めるために法事を営む」と載っています。さて、後者の法事を営むと言う行いについて現代社会の有様を伺ってみますと、何時の頃からか「弔う」意味が伝わらず簡素化を善しとする傾向が見られます。それを宗教的には「葬儀」として宗教儀礼を勤めてきました。では「葬儀」とはと問うてみますと「死者を葬る儀式」と定義されています。古来「葬る」行為は人間世界でしか行いません。それは、火葬、鳥葬、風葬、水葬、土葬等々それぞれの国や、民族によつて葬る方法は違います。こうした流れをふまえ国内の現況はどうでしょう。悲しい事に「弔う」思いが忘れられ、前述の如く簡単に済ませようと、新語まで生まれています。それは「家族葬、直葬、一日葬」などと言ひ人間関係の煩わしさから逃

れることを第一義と恰好つけ、実はお金のかからない儀式を望んでいるのです。本来葬儀とは一人で勤めても百人で勤めても葬儀は葬儀。大切なのは参拝の時、大切な方の死を悲しみ、そこから私の生きる道を示して頂く事なのです。「おまえも死ぬぞ!!」何と厳しい言葉が届いてはいませんか。

「弔う」を象形文字にしますと、一本の木に上から蔓が下がってくる絵になります。と言う事は、私と言う木に亡き方が蔓となつてぐるぐる上から巻きつけ如何に生くべきかと語つて下さる意味となります。日頃お釈迦様の教えに縁のなかつた者が、「弔い」の儀式を通して新しい生き方をお教典から学ばせて頂くその時間と場所をしつらえて下さったのが亡き方、「ご往生」された方と伺ひ知る事ができます。決して亡き方の為に葬儀が勤められるのではあ

りません。従いまして、亡くなられた方とご縁の深かつた全ての方々ご連絡をとられ、参拝されるされないの思ひは知らされた方に任せておく。これがご遺族になられた方々のお仕事です。亡くなられた方に喜んで頂くならば、これから生きて行くあなたのお姿そのものと諦かになりました。

最後になりましたが長照寺は、ご往生された方々からお心を頂く場として平成元年に設立されました。いわゆる本堂ですが少しづつ老朽化は否めません。そこでこの度の門信徒会費制度にご理解を賜り誠に有難うございました。取められました会費は皆様の為、お役に立てます事をお約束します。そして現在コロナ禍の中、お寺も三密にならぬように参拝方法を考えながらご法要を勤めさせて頂いています。どうぞご遠慮なさらずお参りされますようお願い申し上げます。医療関係にご尽力されていらつしやる全ての方々に敬意を表し、終息を念じつつ共に歩ませて頂きましょう。



合掌

門信徒にとってのお寺とは



長照寺門信徒会々長
長照寺総代

齋藤善治

—門信徒会々費へのご協力に御礼—

創建三十年を過ぎた長照寺にとって、今後のお寺の護持基盤の安定化が大きな懸案となっておりましたが、門信徒会々員各位の年間会費という形で支えて頂くことにご賛同が得られ、正式にスタートすることになりました。皆様の温かいご協力とご支援に対して心から御礼申し上げます。

ここに至る過程においては、様々なご意見も頂きました。門信徒会としてのPR不足を痛感した次第です。この機会に、そのいくつかを整理してみましたのでご理解の程宜しくお願い申し上げます。

—お寺と門信徒会との関係—

お寺とは、阿弥陀様（本堂）を中心として、教義の宣布、法要儀式の執行、僧侶・門信徒の教化育成などが行われるところであります。

そのため、門信徒は全員が門信徒会々員として、お寺の各種活動に参加して、お互いに

学びあうのが本来の姿であります。

お寺と門信徒の間には、権利・義務のような性格のものはないにも存在せず、お寺の護持と門信徒の教化育成について、ご住職と共に協調して信仰を深めるための活動をしていくのが基本的考え方になります。

—門信徒にとってのお寺とは—

お寺は、門信徒の私たちにとっては、仏法を聴聞する聞法の道場であり、親鸞聖人のみ教えを聞くことよって老病死の苦悩解決を得る場所なのです。ここに、お寺が宗教法人として公共の福祉に寄与する意味があるときれています。

墓地の取得を契機として門信徒会に入会した方が大勢かと思いますが、浄土真宗の本願である他力の教えに触れる機会に巡り合ったと言えます。浄土真宗の教えに出会い、これまでとは違った人生が見えてくることでしょう。その喜びを味わえる楽しみがあるのです。

最近の社会は、競争の原理という物差しに支配されています。グローバルな世界を生き抜くために競争に打ち勝つことが最優先にされています。経済活動にあつては致仕方ない面もありますが、このような考え方に浸ってしまうと徐々に視野が狭くなり、攻撃的姿勢が強くなって精神的に苦しむ人が多くなってくるのではないのでしょうか。

こんな世の中にあつて、もつと心豊かに楽

しく生きる方法があることを教えてくれるのが「私たちのお寺」なのではないでしょうか。

「出家とその弟子」の著者である倉田百三は「生活と一枚の宗教」という本も書いています。ここで「後ろを見る眼」について語っています。

人間には背中側にも眼がついていると言うのです。人間は前しか見えませんが、実は、後ろからも大きな力で支えられているという経験を述べています。大変感動したことを覚えていきます。

これは、親鸞聖人の他力本願の思想に通じるものですが、長照寺で聴聞してきたこれまでの考え方と通じ会ったのです。私としては大変に嬉しい出来事でした。

自分自身の問題を解決できない自分が悩み悲しみを抱えながらも生きていけるのは阿弥陀様がいつも寄り添って支えてくださるからだと思つていきます。 合掌

※他力とは

阿弥陀様の「お力（はたらき）」のこと。

他人（人間）の力ではありません。

※門信徒会とは

一般的にいうところの「檀家会」のこと。



活動報告

令和元年下期～令和二年下期

恵みのお参り(七五三のお参り)

令和元年十一月十一日

鈴木 玲依(れい)さん

※写真は7ページに掲載



報恩講

ご講師「成田善真 師」

浄土真宗の門信徒として最も大切なご法要です。親鸞聖人のご遺徳を偲び、生きる「力」をいただきます。



令和元年十一月十七日

…一五〇余名

境内清掃作業

新しい年を迎えるにあたり、感謝・感謝。



令和元年十一月三十日
…長照寺境内(二〇〇余名)

静岡東組「第7次門徒推進員養成連続研修会」(第一回目)

令和元年十二月八日～九日

第一回目主任講師「大江 宏玄 師」

…築地本願寺

連研は、カリキュラムに沿って体系的に浄土真宗を学びます。また、平素の仏事、自分のいのちの問題を考え、参加者とも話し合いながら深めあつていく研修です。

※写真は表紙にも掲載



除夜会

百八ツばかりの煩惱ではないことを知り、これからは少しずつ出していきましょう。

令和元年十二月三十一日
…長照寺本堂・梵鐘(百十余名)



修正会・新年会

心新たに出発。今年こそはと毎年思っている自分がいた。

令和二年一月四日
…約四十名



正忌報恩講

深々と冷える京都ご本山（西本願寺）参拝。身が引き締まりました。



令和二年一月九日～十日
…京都・西本願寺(本山)



静岡東組「第7次門徒推進員養成連続研修会」(第二回目)

第二回目主任講師「南荘 摂師」

令和二年一月十三日～十四日
…ホテルサンバレー富士見

連研は、カリキュラムに沿って体系的に浄土真宗を学びます。また、平素の仏事、自分のいのちの問題を考え、参加者とも話し合いながら深めあつていく研修です。

※写真は表紙にも掲載



東京教区仏教壮年会連盟研修会

令和元年二月二日
…築地本願寺

先輩方々を敬いながら、若い者とも共生きの強化団体です。



静岡東組「第7次門徒推進員養成連続研修会」(第三回目)

※新型コロナウイルス感染症のため、延期（令和三年三月開催予定）

令和二年二月二十九日～三月一日



春季彼岸会法要

令和二年三月二十日

※新型コロナウイルス感染症のため、無参拝者法要



恵みのお参り（祝入園・入学慶讃法要）

令和二年四月四日

子供さん・お孫さんの入学・入園のお慶びを、阿弥陀様の前でご先祖様方にご報告申し上げるお参りです。

鈴木 玲依（れい）さん
芹澤 誠渚（せな）さん
芹澤 珠々華（すずか）さん

※写真は7ページに掲載



静岡東組組会

※新型コロナウイルス感染症の影響により、書面決議にて行いました。



令和二年四月二十二日

門信徒会定期総会

※新型コロナウイルス感染症の影響により、書面決議にて行いました。



令和二年五月九日

恵みのお参り（祝入学慶讃法要）

子供さん・お孫さんの入学・入園のお慶びを、阿弥陀様のまえで
ご先祖様方にご報告申し上げるお参りです。

令和二年七月四日



久原 誠仁（せいと）さん
久原 実子（なおこ）さん
※写真は7ページに掲載

合同盆法要（焼香参拝）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、各家族ごと代表者一名による焼香参拝にてお勤めいたしました。

令和二年八月十三〜十五日



秋季彼岸会法要（焼香参拝）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、各家族ごと代表者一名による焼香参拝にてお勤めいたしました。

令和二年九月二十二日



※左記の法要および諸行事は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

- ◆ つきじー泊（わんぱく）子ども会
- ◆ 花まつり「お釈迦様の誕生日」
- ◆ 第五十一回門信徒会親睦ゴルフコンペ
- ◆ 第十一回門信徒会親睦ボウリング大会
- ◆ 東京教区仏教壮年会研修会
- ◆ 境内清掃作業・親睦懇親会
- ◆ お寺の林間学校

今 後 の 活 動 予 定

令和2年		
11月15日(日)	報恩講	本堂
12月6日(日)	境内清掃作業	境内
12月31日(木)	除夜会	本堂
令和3年		
1月4日(月)	修正会・新年会	本堂
1月～日	ご正忌報恩講	西本願寺
2月～日	仏教壮年会連盟結成記念日研修会	
3月～日	静岡東組門徒推進委員 養成連続研修会(第3回目)	ホテルサンバレー 富士見
3月20日(土)	春季彼岸会法要	本堂
4月11日(日)	寺報第45号発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。

※定例法座は第3土曜日、午後1時より本堂にて開催。

※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
気持ちが軽くなる自分を発見
できるかもしれません。)

※新型コロナウイルス感染症の今後の動向により、上記諸行事等を急遽中止
もしくは延期させていただく場合があります。

恵みのお参り

… 入園・入学のお参り …



久原 誠仁(せいと)さん
久原 実子(なほこ)さん



芹澤 誠渚(せな)さん
芹澤 珠々華(すずか)さん

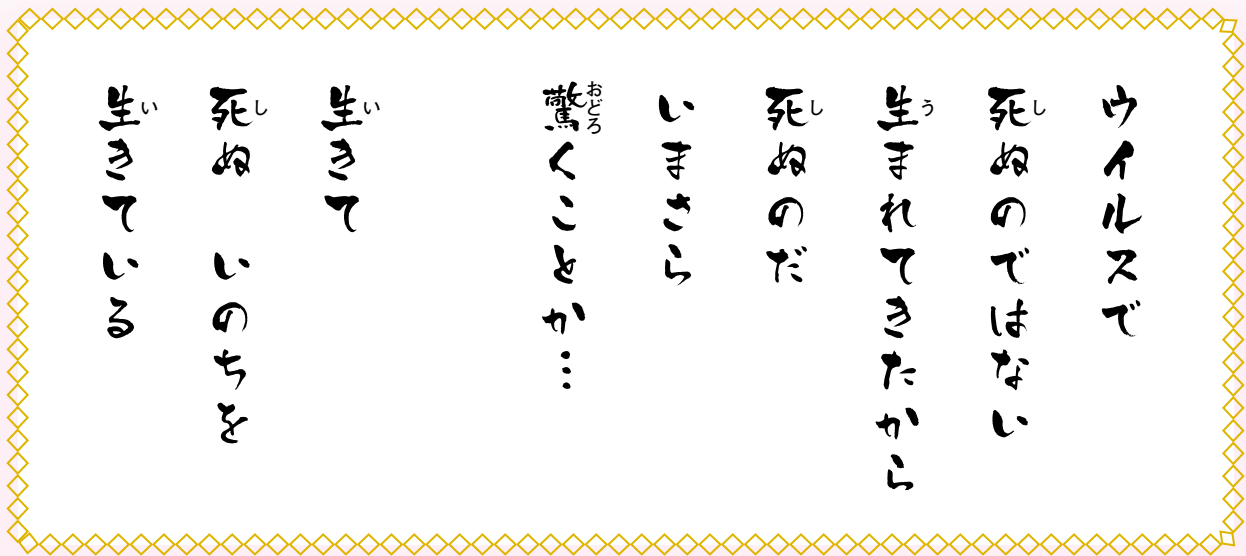


鈴木 玲依(れい)さん

… 七五三のお参り …



鈴木 玲依(れい)さん



上の言葉は、れんによしょうにん 蓮如上人の『ごぶんしょう 御文章』の一節をもとにしたものです。えんとく 延徳4年にえきびょう 疫病が流行し、多くの人々が亡くなったことを受けて、上人はこれをお書きになりました。

いま現在、世界中で新型コロナウイルスに感染して多くの方が亡くなっておられることを思うと、たいへん厳しい言葉です。しかし、蓮如上人は、決して、亡くなった方やその家族の心情を無視されたわけではなく、また、医療の努力を無駄なことだとしてこのようなことをおっしゃったのではありません。

生まれてきたものは、必ず死んでいくという、いのちの真実を鋭く指摘されているのです。

しかし、その真実を受けとめられないのが私の現実です。そのような私であることを見抜き、そのままの姿で救うと今ここではたらいあみだによらいておられるのが、阿弥陀如来という仏さまのお慈悲じひです。

そのような阿弥陀如来の救いであに出遇ったことを喜び、感謝のお念仏となを称えながら、生きて死ぬいのちを精いっぱい生きていく道があります。

『本願寺新報』2020年7月1日号より



編集後記

☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
 ☆お寺は「よろず相談処」です。
 日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
 ☆次回寺報は、2021年4月4日(日)発行予定です。

- ご意見・ご要望は、寺務所まで
 〒411-0044 三島市徳倉1195-817 TEL・FAX055-988-3900
 編集人 = 菊沢・斎藤・園田・杉山